海外安全対策情報（2013年 4月～6月）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

犯罪の発生状況は高止まりのままであり、特にショッピング・モール内の宝石店強盗や路上強盗の被害が目立っている。また、ケープタウンにおいても、観光客が多く訪れるウォーターフロント地区で強盗事件が発生する等、旅行者も注意が必要となっている。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪・その他犯罪の事例

（1）殺人

<邦人被害>

情報無し

<邦人関係以外の事例>

- ・プレトリア市内エルドレン地区において、4人組の強盗によるけん銃使用の住居侵入強盗殺人が発生した。（4月中）
- ・ヨハネスブルグ市内中心部において、男性が一人で歩いていたところ、けん銃で撃たれ死亡した。（5月中）
- ・プレトリア市内ヘルクレス地区において、夫婦が住む自宅に強盗が侵入し、夫はけん銃により殺害された。（6月中）

（2）強盗

<邦人被害>

- ・6月23日午前8時頃、ヨハネスブルグにおいて男性旅行者が長距離バス乗り場でバスを待っていたところ、約10人組の男らに囲まれた後、羽交い締めになされ、所持していた現金や携帯電話を強奪された。

<邦人関係以外の事例>

- ・ヨハネスブルグ国際空港近くのショッピングセンター内において4人組の強盗が押し入り現金を強奪したが、顧客に怪我人は出なかった。（4月中）
- ・プレトリア東部ウィットバンクにおいて警察官2名がATMにおいて現金を引き下ろしていたところ、強盗に銃で撃たれ現金を強奪された。（4月中）
- ・ヨハネスブルグ市内の大型カジノにおいて強盗事件が発生したが、犯人19名の内15名が警察により逮捕された。（4月中）
- ・プレトリア市内中心部において女性が一人で歩いていたところ、強盗によりけん銃で撃たれ死亡した。（4月中）
- ・ソウェトにおいて信者らが教会に集まっていたところ、強盗被害に遭った。（4月中）
- ・ナイジェリア大使館員が、プレトリア市内の自宅において住居侵入強盗の被害に遭った。（5月中）
- ・プレトリア市内中心部においてビジネスマンが歩いていたところ、5人組の強盗に襲われ現金等を強奪された。（5月中）

- ・プレトリア北部のSinovilleにおいて、当地在住の中国人が車両で走行していたところ、制服の偽警察官により停止をさせられた後、拳銃を付けつけられ、金品を強奪された。（5月中）
- ・プレトリア市内Hatfield地区のファーストフード店において、武装した2人組が同店の警備員に対して拳銃で発砲し怪我を負わせた上、店内の金品を強奪した。（5月中）
- ・プレトリア市内ウォーター・クルーフ地区において、一戸建てに2人組の強盗が侵入し、現金等を強奪された。（6月中）

（3）強姦

<邦人被害>

情報無し

（4）その他

<邦人被害>

情報無し

3 テロ・爆弾事件発生状況

情報無し

4 誘拐・脅迫事件発生状況

<邦人被害>

情報無し

5 対日感情

良好だが、裕福な国民と認められ、強盗等の標的とみなされることが多い。

6 日本企業の安全に関する諸問題

事務所に対する強盗・窃盗が増加傾向にあり、個々の警備対策が不可欠となっているため、警備員を雇用する企業が多い。

7 日本人の安全対策のために行った具体的措置（情報提供等）

- ・5月23日、労組COSATUと複数の市民団体によるEトール導入に反対する大規模なデモ行進が行われる予定である旨を、在留邦人へのお知らせを発し、情報提供を行った。
- ・5月28日、南ア国家警察の事務職員らによる国内全域における賃上げのためのストライキが計画されたことにより、警察への架電が難しくなることが予想されたため、在留邦人へのお知らせを発出し、情報提供を行った。
- ・5月30日、当館前において、南ア金属労働組合（Numsa）によるデモ行動が計画されたため、在留邦人へのお知らせを発出し、情報提供を行った。